

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただく為に、施工前に必ず説明書をお読みください。

## ■梱包明細表

### 【1】本体セット

名 称	員 数
① 本体	1

### 【2】トURREール（DK1型用）セット

名 称	員 数
② トURREール	1

### 【3】中間支柱セット

名 称	員 数		
	DK1	DK2	DK3
③ DK1型中間柱	1	—	—
④ DK2型中間柱	—	1	—
⑤ DK3型中間柱	—	—	1
⑥ トURREール固定ボルト M12×30六角ボルト・バネ座金	2	2	2
⑦ ボトムレール固定ボルト M8×16六角丸頭ボルト・平座金	2	2	2
⑧ DK1本体笠木固定ボルト M10×25六角丸頭ボルト・平座金・バネ座金	2	—	—

### 【4】端末支柱セット

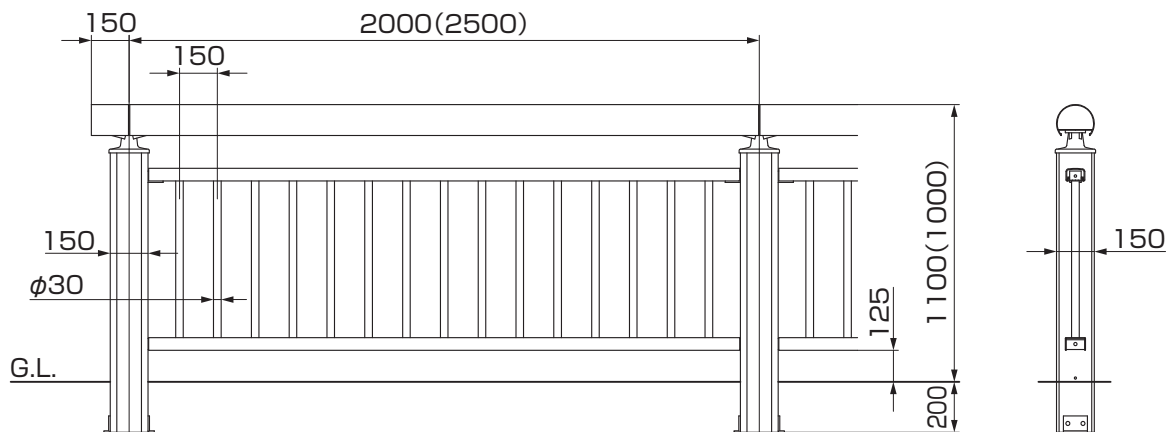
名 称	員 数		
	DK1	DK2	DK3
⑨ DK1型端末柱	1	—	—
⑩ DK2型端末柱	—	1	—
⑪ DK3型端末柱	—	—	1
⑥ トURREール固定ボルト M12×30六角ボルト・バネ座金	2	2	2
⑦ ボトムレール固定ボルト M8×16六角丸頭ボルト・平座金	1	1	1
⑧ DK1本体笠木固定ボルト M10×25六角丸頭ボルト・平座金・バネ座金	1	—	—

### 【5】端末笠木（DK1・DK2型用）セット

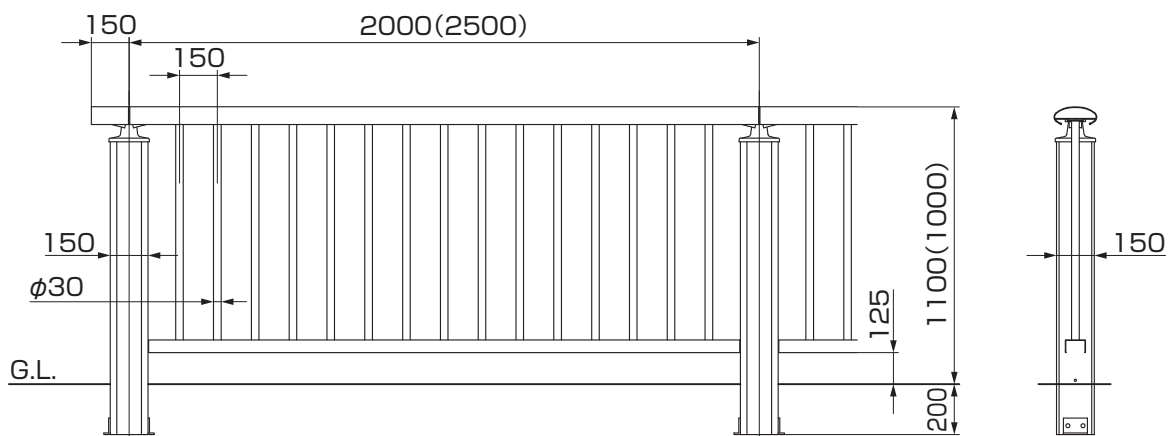
名 称	員 数
⑫ 端末笠木	1

# 1. 基本寸法および施工図

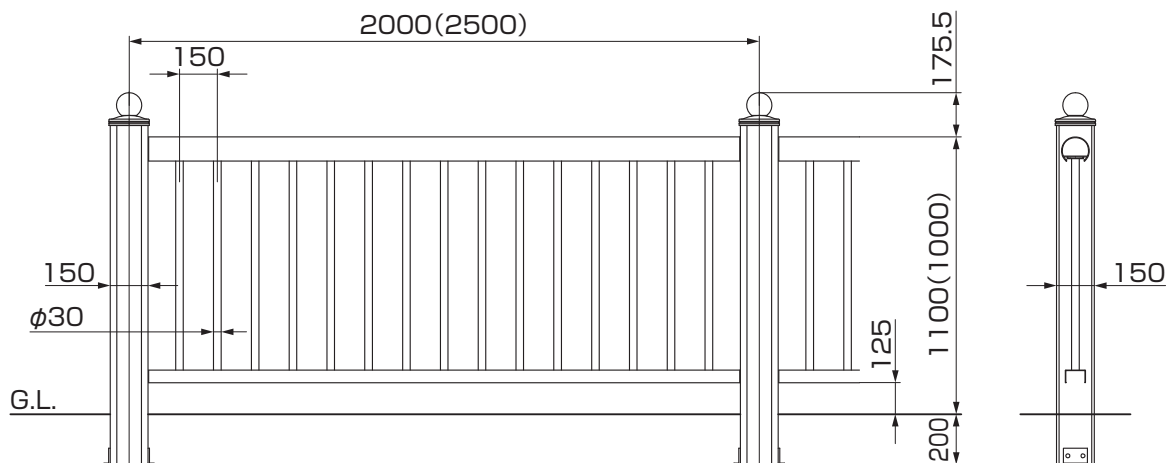
1-1 DK1型 ※図はトップレールAの場合です。



1-2 DK2型 ※図は笠木Bの場合です。

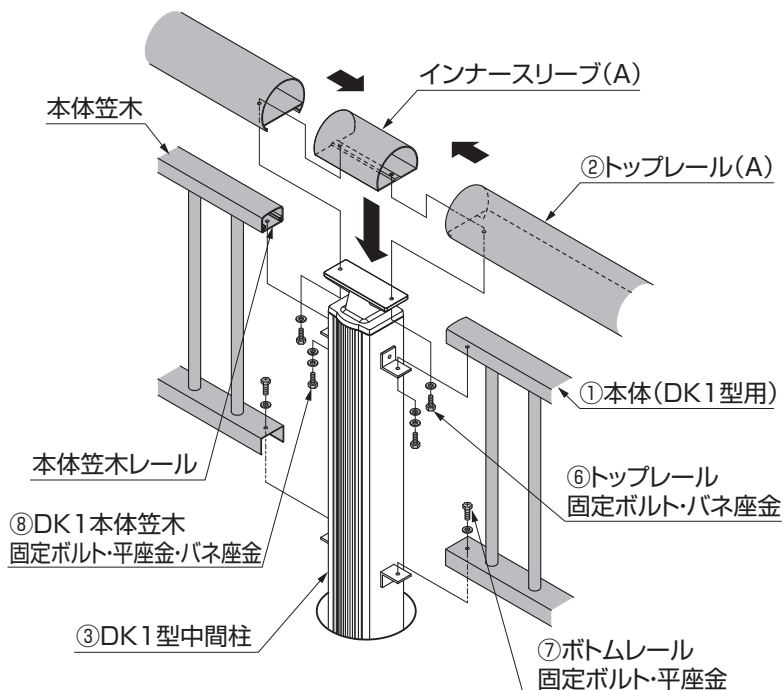


1-3 DK3型 ※図はギボシZの場合です。



## 2. 本体の取付け

### 2-1 DK1型 ※図はトップレールA, 支柱150aの場合です。

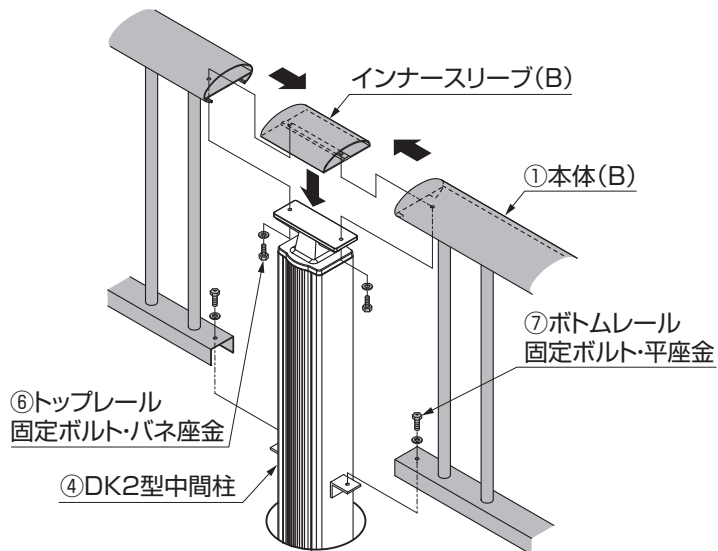


- ①支柱を施工穴に仮設置してください。
- ②仮止めしてあるトップレール固定ボルト、本体笠木固定ボルト、ボトムレール固定ボルトを外してください。
- ③端柱から順に片追いで、トップレールおよび本体を取付けてください。支柱は仮設置のままにしてください。
- ④取付けたボルトがゆるんでいないか確認してください。
- ⑤レベル・通りを確認し、柱がガタつかないように固定してください。

#### 補足

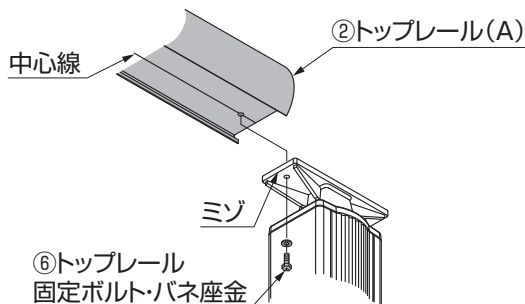
- 本体笠木は、スライド式で組立ててあります。輸送途中でズれる可能性がありますので、本体笠木が均等な位置にあるか確認してください。本体笠木レールは本体笠木より、左右均等に17.5mm短くなっています。

### 2-2 DK2型 ※図は笠木B, 支柱150aの場合です。



- ①支柱を施工穴に仮設置してください。
- ②仮止めしてあるトップレール固定ボルトとボトムレール固定ボルトをはずしてください。
- ③端柱から順に片追いで本体を取付けてください。  
(支柱は仮設置のままにしてください)
- ④取付けたボルトがゆるんでいないか確認してください。
- ⑤レベル・通りを確認し、柱がガタつかないように固定してください。

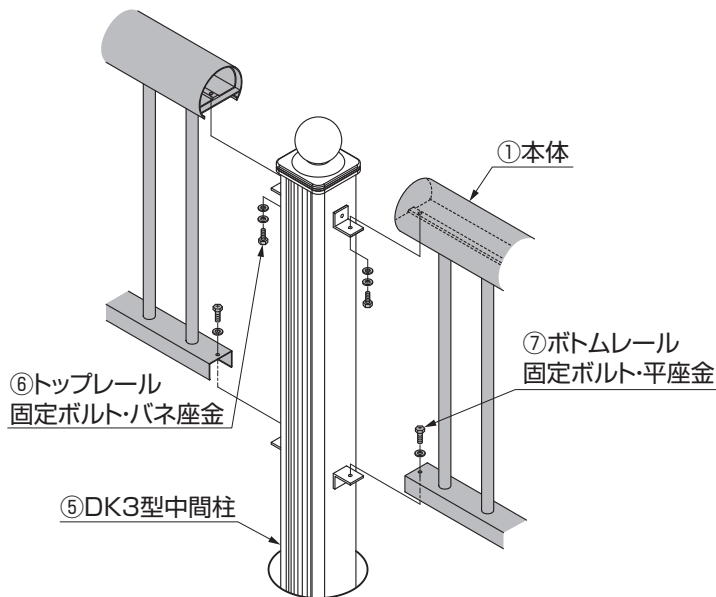
### 2-3 トップレール／笠木の取付けの注意点



- ①トップレール／笠木の固定は、ブラケットのミゾとトップレール／笠木の中心線を目安に芯を合わせてください。

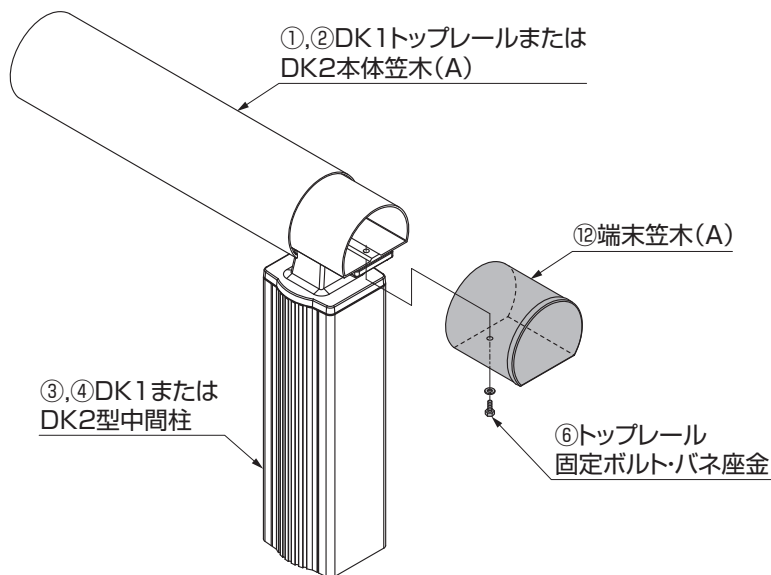
## 2. (つづき)

### 2-4 DK3型 ※図はギボシZ, 支柱150aの場合です。



- ①支柱を施工穴に仮設置してください。
- ②仮止めしてあるトップレール固定ボルトとボトムレール固定ボルトをはずしてください。
- ③本体の上段レールとボトムレールを支柱のブラケットにのせ、ボルトで固定してください。
- ④レベル・通りを確認し、柱がガタつかないように固定してください。

### 3. 端末笠木の取付け ※図はトップレールA, 支柱150aの場合です。



- ①仮止め状態の端部のインナースリーブに端末笠木を差し入れ、ボルトを完全に締め付けてください。

#### 工事店様へ

- 仕上げ後、本体に付いているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面をいためますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

#### 施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。また、汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

**C406**

XXX014551  
201008A\_1042  
201607B\_1048